

# キラ☆キラ

北九州市市民活動サポートセンター

No.248  
令和7年 秋号



目次

- 1P 表紙(サポの日紹介)
- 2～5P サポの日  
インターンシップ大活躍!!
- 6P 所轄庁からのお知らせ
- 7P サポセンからのお知らせ
- 8P 421Lab.のページ

サポの日  
紹介!!

日頃の活動  みんなの前で **発表** して  
みませんか?

市民活動サポートセンターでは、毎月NPO団体や市民活動団体の活動発表会を開催しています。  
これまで、264回開催しています。(R7.9月現在)

他の団体の活動を「知り、つながり、自身の活動が広がった!!」と大変好評をいただいております。

また、発表会への受講参加も大歓迎です 

発表日時: 毎月第3or4木曜日(変更の場合あり)18:30～20:00

発表場所: 市民活動サポートセンター内(コムシティ3階)

R7.4月開催



R7.5月開催



R7.6月開催



R7.9月開催



R7.7月開催



R7.8月開催





2025年7月24日開催  
第262回サポートセンターの日 NPO 活動発表会



ひとりで  
悩まないで  
みんなで  
支えあおう

NPO 法人老いを支える北九州家族の会

### 「団体の紹介」

NPO 法人老いを支える北九州家族の会は、北九州市と近郊の高齢者の介護を応援することを目的とし、平成6年に結成されたボランティアの市民団体です。相談窓口の設置、交流会や出前講座の実施など多岐にわたって、精力的に活動をされています。高齢化社会が加速する中、周囲の関心や期待がますます高まる団体として発表をしていただきました。

#### 蒲地理事長によるごあいさつ

理事長である蒲地眞一氏は、会の冒頭に、「高齢化の進む北九州市において、シニア世代には、『自分たちは貴重な体験を経てここまで生きてきたのだ』という誇りをもってほしい」と語られました。



#### 沼田賢一郎さんと眞由美さんのお話

沼田賢一郎さんは、70歳で初期アルツハイマーと診断されました。

**不安・恐怖・絶望・・・**

「数字を覚え難くなる」「カバンを置き忘れる」「免許証の返納」などを通して、これまで積み上げてきたことが崩れ落ちていく感覚にとらわれました。



**明るく前向きに生きる人生への転換**

高橋佳子先生(魂の学び)との出会い、市政だよりで見つけた家族交流会への参加、家族の支え、「さろん憩い」での活動など、多くの方々との出会いが生きる原動力となり今がある、と語られました。今では、「認知症の先駆者になりたい!」という強い意思のもと元気いっぱい生活されています。



発表者の皆さん

眞由美さんは、診断を受けた後、賢一郎さんの一挙手一投足を気にして疲れる毎日を送られたようです。しかし、NPO 法人老いを支える北九州家族の会の支援により、一般社団法人日本認知症ワーキンググループの会員となったことや家族交流会に参加したことが転機となり、賢一郎さんの真心に寄り添えるパートナーになりたいと思うようになったそうです。



### さろん「憩い」

さろん憩いは、2021年1月に開設された認知症ご本人、ご家族の方々の仲間づくりの場です。

## さろん 憩い

認知症の人・家族の人・みんなで楽しく  
過ごしています! お気軽にお越しください♪

開催：毎月第3日曜日 10:30～14:00  
場所：西部障害者福祉会館5階(調理室) 参加費：300円  
八幡西区黒崎三丁目15-3 コムシティ5階  
参加希望の方は事前にご連絡いただくと幸いです  
主催：NPO法人 老いを支える北九州家族の会  
TEL 093-882-5599

午前中は、皆でメニューを決め、相談しながら調理をします。午後は、折り紙、ゲーム遊び、Sunドリームズのバンドに合わせて歌を歌ったりします。

担当のト藏(ぼくら)さん



#### 野村事務局長によるごあいさつ

「認知症になっても希望を持って生きていけます。ご家族の皆さんも悩んでいらっしゃるかもしれませんが、みんな仲間になって人生を明るく生きていく、つながりのもてる社会を目指していきたいです!」と締めくくられました。







2025年8月28日開催  
第263回サポートセンターの日・NPO活動発表会

## 戦後80年 「語りつなぐ八幡大空襲」 平野塾の活動を通じて

発表団体：聞き書きボランティア「平野塾」

発表者：荒石 正氏

(聞き書きボランティア「平野塾」事務局長)



荒石事務局長 荒石桂子さん

ご夫婦で聞き書きボランティア「平野塾」で活動中!!

### 《聞き書きボランティア「平野塾」ご紹介》

1945年8月8日の八幡大空襲の記憶を後世に引き継ぐため、聞き書きを通して空襲・戦争体験者と次世代が交流できる場を設定、語り部活動を中心とした平和学習や八幡大空襲慰霊祭や展示会・講演会などを通じて、平和の大切さや戦争の愚かを伝えていく活動をしている団体です。



現在発行中の証言集1～4集

(※証言集にご興味がある方は「平野市民センター」にお問合せを)

### 「八幡大空襲 DVD 視聴」

「初めて姿を現した「B-29」～北九州空襲―未来に残す戦争の記憶」を視聴後、八幡大空襲体験者の証言や当時の写真、空襲後の貴重な映像を荒石さんの解説でご参加の皆さんと視聴しました。



### 「八文字カフェ」の開催

八文字カフェは、語り合い、共有、共感する出会いの場として、毎月第3土曜日に平野市民センター(八幡東区桃園)で開催されています。また平和について考えるきっかけになったとの声もあり「大人の平和学習」として毎回30名を超える参加者でにぎわいます。

平野塾の出来谷代表が「八文字カフェは筋書きのないドラマだ!」とお話をされていたそうです。

今は、一部平野塾が準備したトピックス(話題)について皆さんで考え、後半は参加者から出された問題提起を話し合います。全員参加のカフェになるように、司会進行を工夫しているそうです。

### 「聞き書き活動(証言集の発行)」

「平野塾」は、空襲体験者の体験談を語りつなぐために、聞き書きした話を証言集として発行しています。

証言を後世に正確に伝えていくため、体験者の話を何度も聞き書きします。

その都度、記憶がよみがえり、新たな証言を得ることができるそうです。

丁寧に証言を聞き書きし、一編一編に時間をかけて編集した「証言集」は、第1集が11年前に発行され、現在第4集まで発行されています。

### 「平野塾」の語り部活動と展示会

主に小学校・中学校・市民センターなどの平和学習を通して語り部活動しています。

今年は、次世代に語りつなぐため世代を広げ、高校でも平和学習(語り部活動)を行っています。

新しい試みとして、語り部の話からインスピレーションを受けた高校生が、語り部の気持ちや光景を想像し、「書」に表し、展示会で発表しました。

展示会では、アメリカ軍が撮影した空襲前後の旧八幡市の写真を入手して展示しました。



九州国際大学学園祭での展示会の様子

## 「八幡大空襲」と慰霊祭(小伊藤山公園)

八幡大空襲は、1945年8月8日午前10時頃、米軍の B29 爆撃機221機が、旧八幡市街地等に焼夷弾を投下、約 2,500 人が死傷、14,000 戸が被災しました。

毎年、聞き書きボランティア「平野塾」などが主催する慰霊祭が8月8日に執り行われ、今年も、地域住民ら約 250 人が参列しました。

慰霊祭が行われている小伊藤山公園付近では、防空壕に避難した約300人が犠牲になりました。

このような悲惨な出来事があったにも関わらず、九州国際大学生の調査では八幡大空襲の認知

度は約 30%でした。

この結果を踏まえて、平和や戦争について次世代が考える時間になればとの思いで、慰霊祭では高校生・大学生による「平和の祈り」を、参列者の前で発表してもらうこととなったそうです。

## 「これからの平和学習」

戦争・空襲体験者が減りゆく中、語り部だけに頼らない持続可能な平和学習はどうあればよいのか、大学生に考えを聞きました。

大学生の皆さんが言ったことは、主体的に取り組んで平和学習(ダンスで表現した平和、合唱部で考えた詩の意味など)は覚えているということです。

「子ども達が主体的にやれる平和学習」に取り組もうとしている、聞き書きボランティア「平野塾」の新しいチャレンジをこれからも応援していきたいと思いました。

## 「実習生さん(インターンシップ)大活躍！！」

8/25(月)～29(金)の5日間、4名の大学生を実習生として受け入れました。当初、緊張した様子もありましたが、実習先での様々な方との出会いを通して刺激を受け、表情も明るくなり、積極的に質問や意見を発言し、かつ交流をしていました。

また、「サポートセンターの日」の受付や準備等にも携わっていただき、最終日には、インターンシップ期間中について、みんなで協力し合い、市民活動サポートセンターの公式 note への投稿記事も作成！！大活躍の5日間でした♪実習生の皆さん、ありがとうございました。

|      |    |                                                                                      |      |                    |                   |
|------|----|--------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------|-------------------|
| 1 日目 | 午前 | オリエンテーション                                                                            | 2 日目 | NPO法人視察(NPO法人わくわく) |                   |
|      | 午後 | コムシティ内<br>(ひとみらいプレイス)見学<br>① ユースステーション<br>② 子どもの館<br>③ 若者ワークプラザ北九州・黒崎<br>④ 西部障害者福祉会館 | 3日目  | NPO法人視察(NPO法人光楽園)  |                   |
| 4日目  | 午前 | 旧古河鉱業若松ビル視察                                                                          | 5日目  | 午前                 | 市民カレッジ運営補助        |
|      | 午後 | サポートセンターの日運営補助                                                                       |      | 午後                 | note 作成・振り返り・意見交換 |



NPO 法人視察、作業のお手伝い！



実習生の皆さんと(職員と(登壇された「平野塾」の荒石ご夫妻と記念写真)



☆市民活動サポートセンター「note」で、シリーズ(全4回)で投稿中！！  
ぜひ、ご覧いただき、「スキ(いいね)」を押していただけると嬉しいです(^\_^)







2025年9月19日開催

第264回 サポートセンターの日 NPO 活動発表会

## 言葉で繋ぐコミュニケーション術

発表者: 語り・朗読「宙のサカナ」代表

野口 和夫 氏



## 野口さんの紹介

直方市立図書館館長、語り・朗読「宙のサカナ」代表。「絵本の読み聞かせ」や「朗読」「語り」をコミュニケーションの手法とし、図書館など各地で朗読会を開催しています。また、市民活動サポートセンターの専門相談員として毎月第1・3土曜日に出席しています。

## 言葉の役割は「感情」の共有だ!!

落語の枕(落語の本題に入る前の導入部分のこと)でスタートした活動発表会、序盤から野口さんの語りに引き込まれる参加者の姿が印象的でした。

そして、野口さんの好きな言葉「最も大切な言語の役割は感情を共有する」を題に、言葉を繋ぐためにはコミュニケーションが必要、でも私たちは意味を伝えるためだけに言葉を使っているわけではなく、「寒いね」といって「寒いね」と返してくれる温かさのように、誰かと気持ちを共感することが、コミュニケーションでは大事になってくる。また五感(視覚・聴覚・味覚・嗅覚・触覚)や「ビビビッとくる」第六感を使うことも必要だと学びました。

## あまり親しくない人とのコミュニケーション

あまり親しくない人と会話をするときには、浅い話(天気の話など)を通し、距離を調整しながらコミュニケーションをとると上手くいくそうです。今回は、参加者の自己紹介と他己紹介(お隣の人の紹

介)を行い「相手に伝える」「相手のことを引き出し、紹介する」ことを学びました。交流時間では初対面とは思えないほど会話が弾み、笑い声が聞こえる楽しい時間となりました。



## いろんな声をだす!(発声・滑舌練習)

幼児向けの絵本を使い、「あ」という言葉を様々な表現で声にだしてみました。「あ」という一つの言葉だけでも、どんな気持ちがそこに乗り、どんなことを伝えたいかによって「あ」の表現が変わる、そんな練習をしました。また、言葉を丁寧に伝える滑舌の練習や、童話を読みながら感情を込める声の出し方も行いました。



最後に、「コミュニケーションを紡いでいくことは終わらない。自分が伝えたかったことと、相手の心に残ったことは違っていい。それを繰り返し、修正をしながら築かれていくのがコミュニケーションだ」との言葉で発表会を終えました。

## ★ 発表会で紹介した本 ★

:小野寺 悦子「あー っていうよ あー」

:林原 玉枝「幸運のおみくじや」

ぜひ読んでみてください♪



## サポートセンター「朗読会」開催中 /

～語り・朗読とまなびの会～

毎月第1・3土曜 16時～17時30分

読みたい本を持って朗読の醍醐味、心に響く語りを体験してみませんか。参加希望の方は、市民活動サポートセンターまで(☎ 093-645-3101)





## 【令和7年度NPO公益活動支援事業補助金】 交付団体決定しました！！

| 団体名                   | 事業名                                                   | 事業内容                                                                                                     |
|-----------------------|-------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 特定非営利活動法人<br>わいわいたかつき | 見守りや安否確認も兼ねた<br>買い物弱者支援事業                             | 「移動販売」で買い物弱者への支援事業と移動販売時に独居高齢者の「安否確認」を行う。                                                                |
| 特定非営利活動法人<br>BeWith   | 子育て世代の孤立を防ぎ、<br>世代を超えて地域全体で子育てをするコミュニティ形成における居場所づくり事業 | 「地域まんまるまると文化祭」を開催。文化祭を通して、多世代が自然に交流できる場をつくり、孤立しがちな子育て世帯のつながり育む。また、運営に若者や学生も参画し、地域との関りを深めながら次世代の担い手を育成する。 |
| 折尾二三会                 | おりちょこランド                                              | 子どもたちが実際に地元企業の仕事体験できる「お仕事体験イベント」を開催。報酬を地域通貨「オリオン」で支給し、体験後に疑似商店街や各ブースで使用できる。                              |
| 黒崎96の日<br>実行委員会       | タウンシップデー10周年<br>シビックプライド醸成                            | 今年10周年を迎え、初めての土曜日開催。住む人働く人誰もが主役となる晴れ舞台として9月6日に「ふれあい通り」にてタウンシップデーを開催。                                     |
| NPO 法人 ALL OK         | 防災アクション+α                                             | 行政・企業・NPO の連携による「共助の防災」を推進するため、年間を通じて市民参加型の地域防災啓発活動を実施。                                                  |

### NPO公益活動支援事業補助金とは・・・

NPO法人や市民活動団体が、専門性や先駆性を発揮して行う、地域の課題解決につながる活動について活動費の一部を補助します。

みなさんの活動も対象事業になるかも!?ぜひ、申請検討をしてみませんか？

詳細は、下記の北九州市 HP をご覧ください。

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/27000007.html>



## 祝 認定 NPO 法人 chanchan 夢企画



新たに認定 NPO 法人になりました！ChanChan 夢企画のご紹介です。

ChanChan 夢企画は、障害児(者)と地域コミュニティの交流を促すために、知的障害のある方たちをキャストに据えたチャンチャン劇団を1993年に発足させました。監督、演出など裏方の仕事は法人の皆さまが協力して準備を行い、所属するキャストの方たちと毎週稽古を続け、毎年12月には定期公演を実施しております。

2019年には NPO 法人として活動を開始し、この度、認定 NPO 法人の仲間入りを果たしました。

これまでの公演の内容などは、下記チャンチャン劇団の HP をご確認ください。

<https://chanchan-yumekikaku.com/index.shtml>







## 【11月サポの日のお知らせ】

“自分の健康を守るために必要なこと”

発表団体:NPO 法人地域医療連携団体 Needs

日時:11月26日(水)18:30~20:00

会場:市民活動サポートセンター(コムシティ3階)

定員:20名(要申込・先着順)

11月サポートセンターの日 NPO活動発表会

発表団体  
NPO法人 地域医療連携団体 Needs

「医療・福祉をもっと身近に」をテーマに誰もが幸せに安心して自分らしく暮らしていける地域社会の実現を目指す団体です!

「運動で免疫をつける!」  
どうやって???

**自分の健康を守るために必要なこと**

自分のやっていることは、正しいの???

～流行感染症から身を守ろう!～

**11/26(水)**  
18時30分  
～20時00分

体操で身体を動かして自分で健康になりましょう!参加して、実際にやってみましょう。「健康運動指導士」の方から教えていただけます!

第1部 活動発表 代表 伊東 浩樹  
第2部 体験活動 健康運動指導士 植杉 真登

<会場・お問合せ・お申込み>  
北九州市市民活動サポートセンター  
八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ3階  
TEL:093-645-3101 FAX:093-645-3102  
Mail: info@kirakirakitaq.jp

参加無料  
定員20名程度  
(要事前申込)

QRコード

## 【12月サポの日のお知らせ】

“プレアデス クリスマスライブ”

発表団体:オールディーズバンドプレアデス

日時:12月14日(日)14:20開場15:00 開演

会場:子どもの館(コムシティ7階)

入場無料・事前予約不要・お子さま大歓迎!!

12月サポートセンターの日 活動発表会

**プレアデス  
クリスマスライブ**  
Merry Christmas & SAPOnoHI Special

**Pleiades**  
オールディーズバンド  
プレアデス

1950～60年代(昭和30年代)に生まれた懐かしいポップスナンバーを日本語歌詞中心で、アコースティックギター、ベース、ドラム、ボーカルで演奏。北九州市で活動をしている、人気のオールディーズバンド。

演奏曲: ヴァケーション、ダイアナ、ルイジアナマ、テネシーワルツ 他

2025年 **12月14日(日)** 14:20開場 15:00開演  
コムシティ7階 **子どもの館 子どもホール**  
(八幡西区黒崎3-15-3 黒崎駅すぐ コムシティ赤エレベーターで7階へ)

**入場無料**  
事前申込不要  
お子さまも歓迎

<主催・お問合せ>  
北九州市市民活動サポートセンター  
TEL:093-645-3101 FAX:093-645-3102  
Mail: info@kirakirakitaq.jp  
https://www.kirakirakitaq.jp/

QRコード

申込:電話:問合せ先:北九州市市民活動サポートセンター

☎:093-645-3101/Mail:info@kirakirakitaq.jp

## 【税理士相談】

毎月第2水曜 17時～20時(1コマ1時間)実施。

(無料・要予約)

いつまでも逃げていられない、会計の悩みにマンツーマンでご相談をお受けします。

帳簿のルール、事業報告書の作り方など。

## 【NPO 法人入門説明会】

毎月2回、第1木曜・第4月曜19時～20時に開催。

(無料・要予約)

「NPO ってなんだろう?」「申請書類の作り方は?」など基本的なご質問から、法人運営に関するご相談まで。

## 【note 投稿中!】

市民活動サポートセンターのセミナー、イベントなどの告知や当日の様子、各団体のイベント等のレポートなどを投稿しています。

是非のぞいてみてください!

## 【NPO の活動をご紹介します!】

市民活動サポートセンターHP(キラキラネット)で団体の紹介をしています!

広く市民の方々に日頃の活動を知ってもらいませんか?掲載を希望する場合は申込みフォームをサポセン宛てに送付ください!



# 421Lab. だより Vol. 14

こんにちは！北九州市立大学地域共生教育センター(421Lab.)です。

私達は、地域で活動したい北九州市立大学の学生と、学生と一緒に課題を解決したい地域の方々と繋ぐ活動を行っています。

本号では 421Lab.のプロジェクトのひとつである「KITAQ∞『絆』復興応援プロジェクト」を紹介します。



## KITAQ∞『絆』復興応援プロジェクト

KITAQ∞『絆』復興応援プロジェクトは、災害の復興支援と風化防止に取り組んでいるプロジェクトです！2011年に東日本大震災の復興支援のために立ち上げられ、現在も様々な活動を行っています。

### 絆焼うどん

釜石市のイカと小倉発祥の焼うどんを掛け合わせた絆焼うどん。リピート客が続出するほどの絶品です。地域のお祭りに屋台を出したり、被災地で提供したりもしています。お祭りでの売り上げは義援金として被災地に寄付しています。



### 災害ボランティア

現在は主に、令和6年能登半島地震で被災した地域の復興を支援するために、現地に赴いて災害ボランティアを行っています。私たちの活動は、重機が入れないような場所の土砂の撤去や家の片付けなど多岐にわたります。実際に自分の目で見て現地の方と話すことでしか分からないことがたくさんあります。



このように 421Lab.では地域の課題解決に向けて様々なプロジェクトが活動を行っています。421Lab.の活動に興味を持たれた方はお気軽にお問い合わせください！



〒802-0841  
北九州市小倉南区北方4丁目2番1号  
公立大学法人北九州市立大学  
地域共生教育センター(通称:421Lab.)  
TEL 093-964-4092  
FAX 093-964-4088



北九州市  
市民活動  
サポートセンター



北九州市八幡西区黒崎三丁目15番3号(コムシティ3階)  
☎ 093-645-3101 FAX 093-645-3102  
HP <https://www.kirakirakitaq.jp> info@kirakirakitaq.jp

開館時間 月曜日～金曜日 10:00～20:00  
土・日・祝日 10:00～18:00  
休館日 第1・3・5月曜日、年末年始